

事例名			
絶滅危機に瀕している生き物を救うためのスライド作成と発表			
校種・学年	高等学校・定時制 4 年		
教科・科目・単元・題材	英語科・VISTA Logic and Expression I ・論理表現 I ・Lesson9 Save the Earth		
学校名〈任意〉	—	事例報告者氏名〈任意〉	—
機能名 (アプリ名)	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニング機能 ・プレゼンテーションアプリ (PowerPoint) ・絶滅危惧種検索 ・翻訳機能 (Google) 		
ICT 活用のポイント			
<p>教科書のリスニング機能を使い、環境問題に関する語彙を確認した。その後、絶滅危惧種について、検索機能を使って情報収集をした。英語の語彙や言い回しがわからないときは、翻訳機能を使って英文を作成し、PowerPoint を使ってスライドの作成をした。</p> <p>ICT を活用することで、絶滅危惧種について、自分が知っていることだけでなく、知らないことも知ることができた。助動詞(should,must,have to)を習得させるのが目的なので、絶滅危惧種を守るために何をすべきか(should)、何をしなければならないのか(must,have to)なども文章の中で使用するよう指示した。</p>			
活用場面			
<p>① 絶滅危惧種検索をする。 原稿の作成。</p> 			
<p>② PowerPoint を使ってスライドを作成する。</p> 			
<p>③ 調べたことを発表する。</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>一年を通して、教科書に出てくるテーマや文法をベースに目標を設定し、生徒たちは各テーマに対して原稿とスライドを作成し、最後にプレゼンテーションを行った。最初は内容を考えることやスライドの作成に時間がかかったが、回数を重ねるうちに、「聞き手にとって見やすいスライドとはどのようなものか」を意識しながら作成できるようになった。また、英語での発表にも慣れ、聞き取りやすい声で発表できるようになった。ただし、原稿作成の際に翻訳機能に頼りすぎてしまい、文法構造を理解しないまま書いてしまう生徒もいたため、その都度、文法の説明をしながら原稿を一緒に作成していった。</p> <p>教員が一方向的に説明するのではなく、生徒と一緒に考え、アドバイスをしながら進める授業スタイルにしたことで、生徒たちは最初こそ戸惑っていたものの、発表後には「楽しかった」という感想も聞くことができた。これからも自分自身を振り返りながら、“Learning is fun.”と思える授業を実践できるよう、日々模索していきたい。</p>			